

再評価対象事業

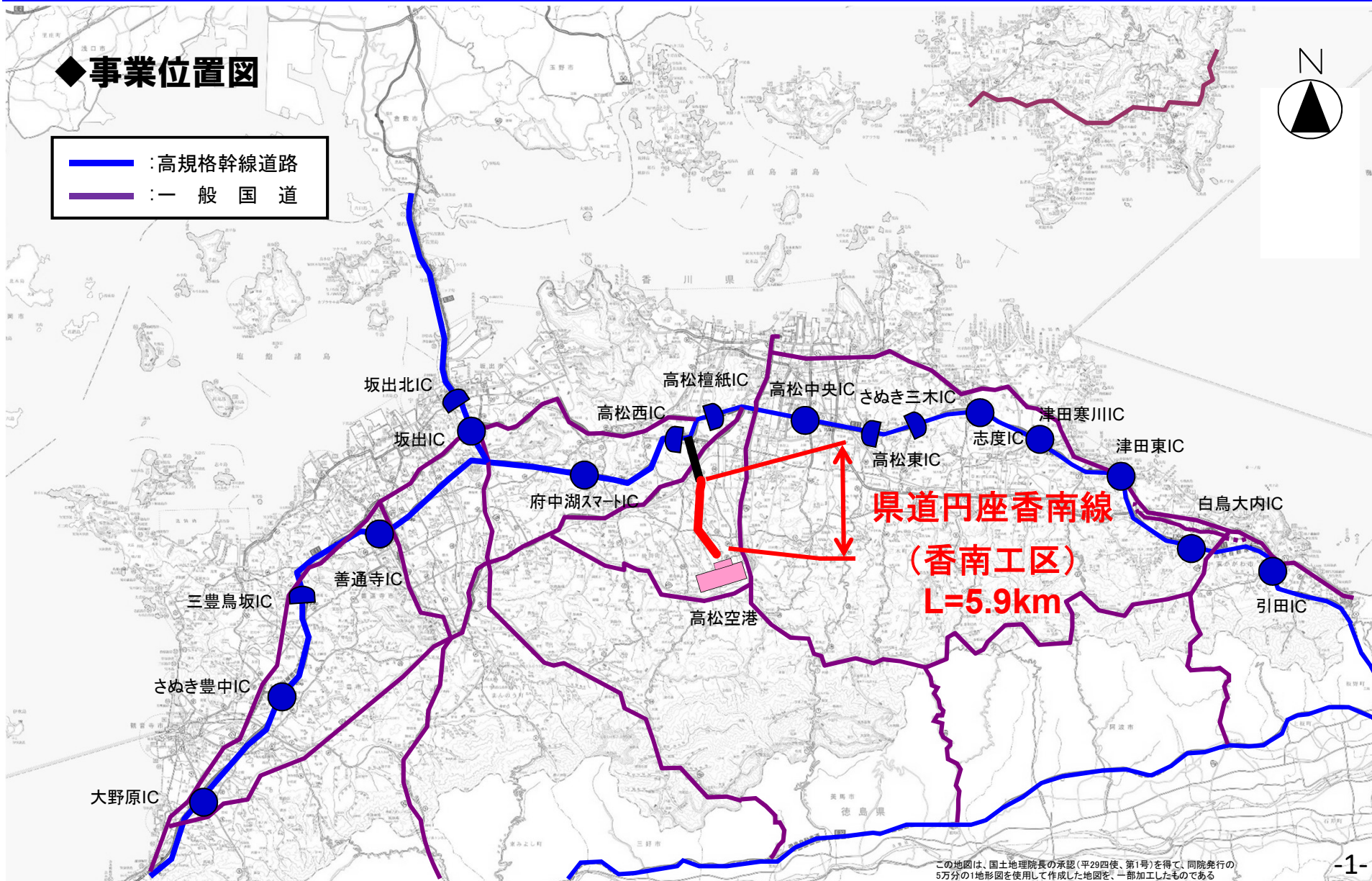
道路改築事業

えんごこうなん こうなん
県道円座香南線（香南工区）

土木部 道路課

位置図

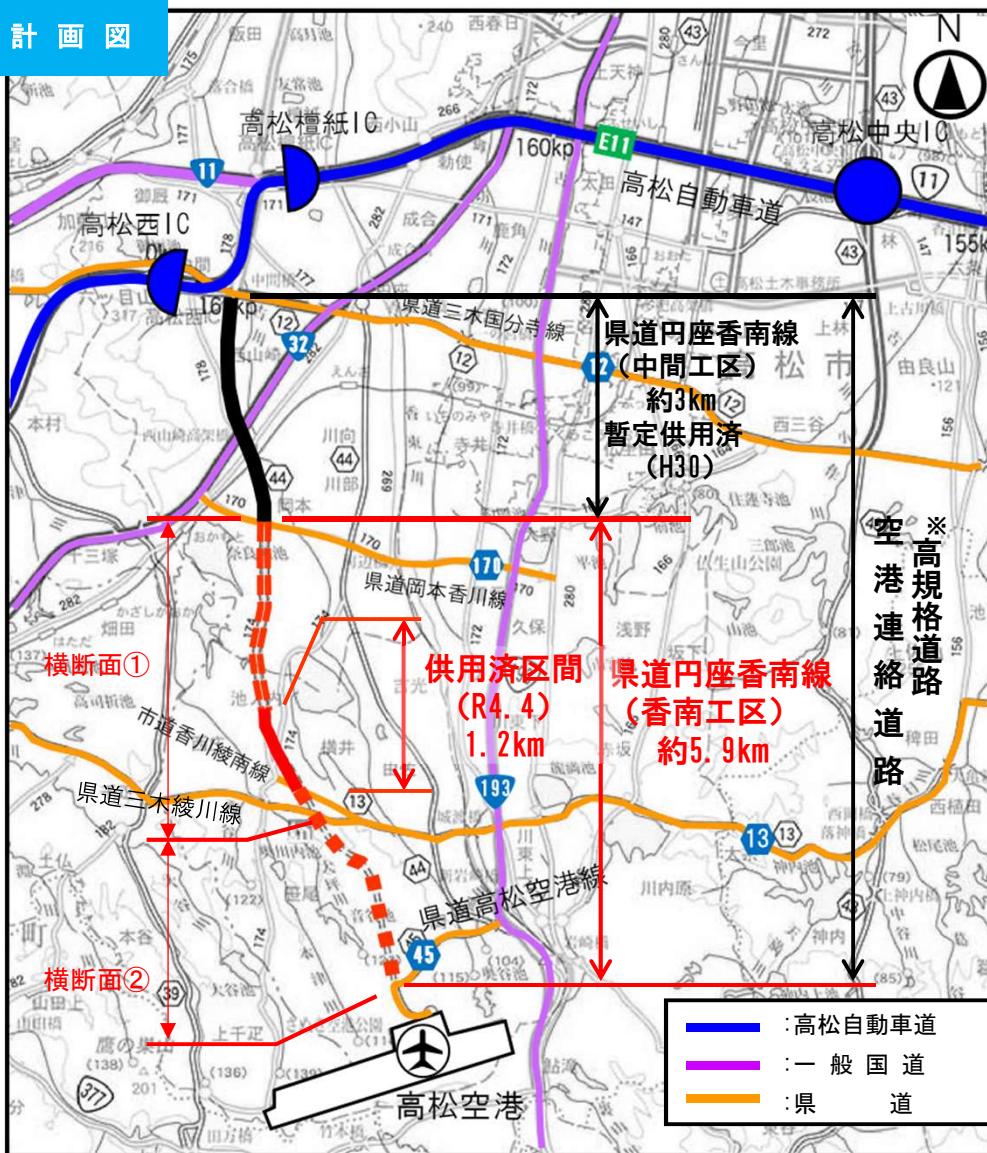
道路改築事業 県道円座香南線(香南工区)



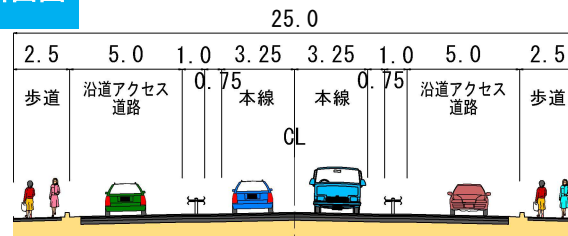
計画図

道路改築事業 県道円座香南線(香南工区)

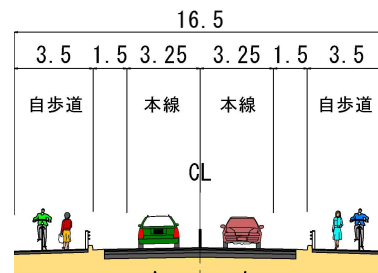
計画図



標準横断面図



① 県道岡本香川線～県道三木綾川線



② 県道三木綾川線～県道高松空港線

延長 L=5.9km

着手年度 平成30年(2018年)度

完了予定年度 令和19年(2037年)度

事業費

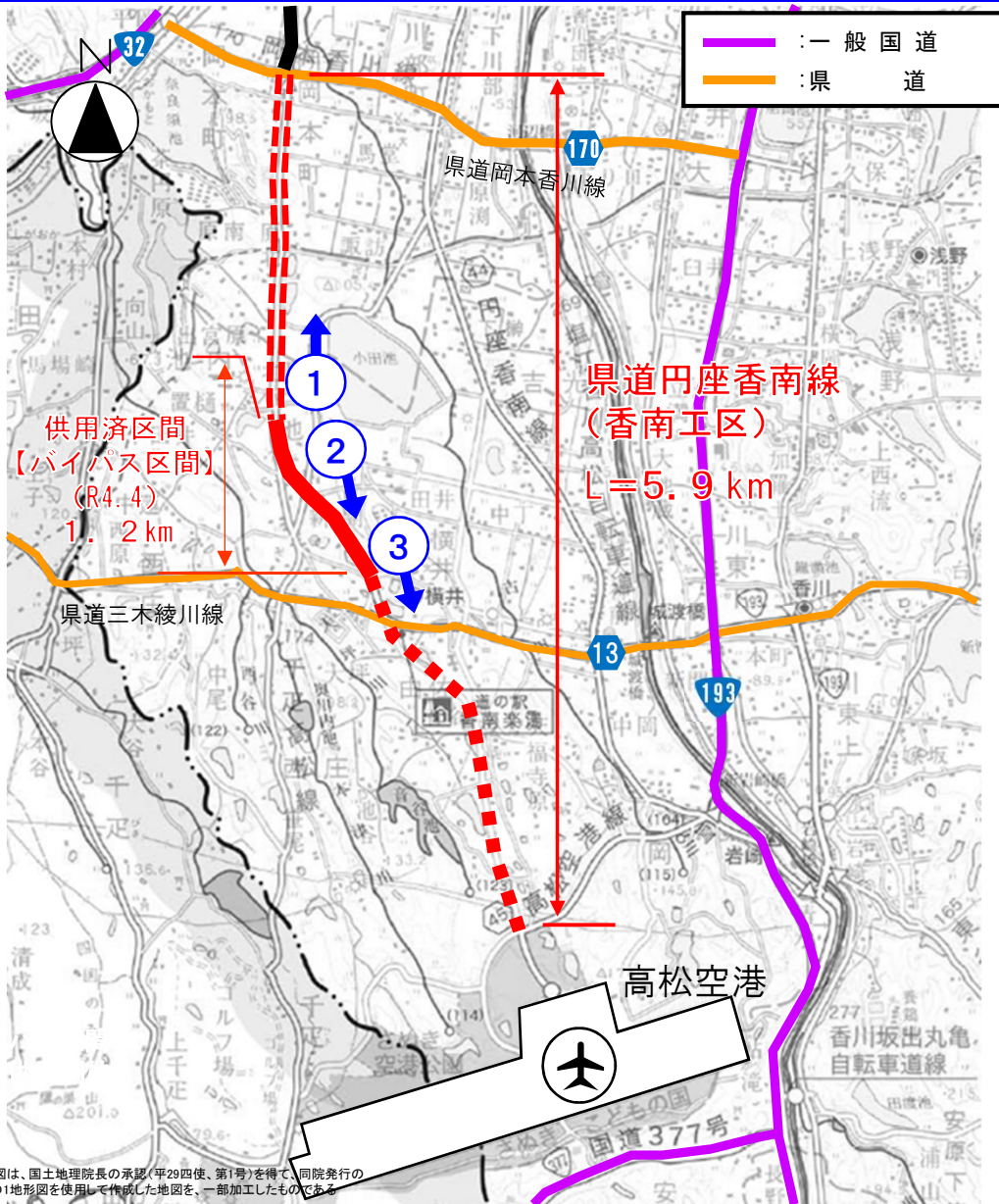
全体	14,500百万円
(令和3年度まで)	2,554百万円
(残事業費)	11,946百万円

この地図は、国土地理院長の承認(平29四使、第1号)を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用して作成した地図を、一部加工したものである

※ 高規格道路：概ね60km/hの速度サービスを提供できる質の高い道路

平面図

道路改築事業 県道円座香南線(香南工区)



この地図は、国土地理院長の承認(平29四使、第1号)を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用して作成した地図を、一部加工したものである。

対応方針(案)

道路改築事業 県道円座香南線(香南工区)

1. 再評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・最寄りの高速IC(高松西IC・高松檀紙IC)から高松空港へのアクセス時間の短縮が必要。
- ・空港アクセスに欠かせない定時性の確保が必要。
- ・並行幹線道路(国道193号)の交通渋滞の緩和。
- ・大規模災害時における緊急輸送道路の確保。
- ・空港連絡道路(約9km)の内、平成30年3月に中間工区(約3km)が供用開始しており、引き続き香南工区(約6km)の整備を進めている。

2) 事業の投資効果

- ・費用便益費(B/C): 1.1(H30新規事業化時点)

3) 事業の進捗状況

- ・事業化から約4年でバイパス区間(L=1.2km)の供用を開始しており、現在は、県道三木綾川線を跨ぐ高架区間の工事を進めている。
現在の進捗は、事業費ベースで約18%完了(令和3年度末時点)。
- ・用地は面積ベースで約37%完了(令和3年度末時点)。

②事業進捗の見込みに関する視点

- ・本年4月に供用開始したバイパス区間に引き続いて、県道三木綾川線を跨ぐ高架区間の橋脚工事等を進めており、概ね順調に進んでいる。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- ・現道を活用することにより、用地等のコスト縮減を図る。

2. 対応方針(案)

以上のことから、**事業を継続する。**